

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【公開番号】特開2008-110067(P2008-110067A)

【公開日】平成20年5月15日 (2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2006-294855(P2006-294855)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月6日 (2009.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を有する遊技盤と、

前記遊技領域に設けられ、当該遊技領域を流下する遊技球を受け入れ可能な受入口と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球の受け入れが不可能な閉鎖態様と遊技球の受け入れが可能な開放態様との間で変位可能な開閉装置と、

少なくとも一以上の特別領域および一以上の通常領域が周縁に設けられると共に、周方向への回転動作を行う回転式役物と、

前記開閉装置から受け入れられた遊技球を前記回転式役物に供給可能な案内装置と、

前記受入口への遊技球の通過または受け入れを検出する受入口検出手段、

前記受入口検出手段により前記受入口への遊技球の通過または受け入れがあった旨が検出されたことに基づいて内部的な抽選処理を行う抽選手段、

前記抽選手段による抽選処理の結果が特定の当選であるときに、前記開閉装置を前記閉鎖態様から前記開放態様に変位させる開閉制御手段、

前記回転式役物の回転動作を制御する役物制御手段、

前記開閉装置から受け入れた遊技球が特定のタイミングで前記回転式役物に供給されるように、前記案内装置の作動を制御する案内制御手段、

前記回転式役物を用いた機械的抽選である役物抽選に当選したか否かを判断する役物抽選判断手段、および

前記役物抽選判断手段によって当選した旨が検出されたことに基づいて遊技者に有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段、

を少なくとも有する遊技制御手段と、

を備えた遊技機であって、

前記案内装置は、前記開閉装置から受け入れられた遊技球のうち 1 球の遊技球のみを前記回転式役物の周縁に対向させることによって、当該 1 球の遊技球を当該回転式役物に供給し、

前記通常領域は、遊技球を受け入れ可能な通常選択口と、当該通常選択口に隣接し且つ前記案内装置が当該通常選択口に先だって対向する通常周壁と、から形成されると共に、

前記特別領域は、遊技球を受け入れ可能な特別選択口と、当該特別選択口に隣接し且つ

前記案内装置が当該特別選択口に先だって対向する特別周壁と、から形成されて、

前記役物抽選判断手段は、前記特別選択口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記役物抽選に当選したと判断するものであり、

前記特別選択口は、当該特別選択口の径方向深さが前記通常選択口の径方向深さよりも大きく形成されると共に、

前記特別領域は、前記回転式役物の周方向に沿った領域長さが、前記通常領域の領域長さよりも小さく形成されている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記役物抽選は、

前記案内装置と前記通常領域とが対向するときに前記 1 球の遊技球が前記回転式役物に供給されると、当該通常領域を形成する前記通常選択口に当該 1 球の遊技球が受け入れられると共に、

前記案内装置と前記特別領域とが対向するときに前記 1 球の遊技球が前記回転式役物に供給されると、当該特別領域を形成する前記特別選択口に当該 1 球の遊技球が受け入れられる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記回転式役物の周縁に沿った開口長さと前記通常選択口の周縁に沿った開口長さとがほぼ同じであって、

前記役物抽選では、前記特別選択口と前記通常選択口とが略同一の開口長さを有するにも拘らず、当該特別選択口の方が当該通常選択口よりも遊技球の受け入れが困難である

ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を解決するための本発明に係る遊技機は、遊技領域を有する遊技盤と、前記遊技領域に設けられ、当該遊技領域を流下する遊技球を受け入れ可能な受入口と、前記遊技領域に設けられ、遊技球の受け入れが不可能な閉鎖態様と遊技球の受け入れが可能な開放態様との間で変位可能な開閉装置と、少なくとも一以上の特別領域および一以上の通常領域が周縁に設けられると共に、周方向への回転動作を行う回転式役物と、前記開閉装置から受け入れられた遊技球を前記回転式役物に供給可能な案内装置と、前記受入口への遊技球の通過または受け入れを検出する受入口検出手段、前記受入口検出手段により前記受入口への遊技球の通過または受け入れがあった旨が検出されたことに基づいて内部的な抽選処理を行う抽選手段、前記抽選手段による抽選処理の結果が特定の当選であるときに、前記開閉装置を前記閉鎖態様から前記開放態様に変位させる開閉制御手段、前記回転式役物の回転動作を制御する役物制御手段、前記開閉装置から受け入れた遊技球が特定のタイミングで前記回転式役物に供給されるように、前記案内装置の作動を制御する案内制御手段、前記回転式役物を用いた機械的抽選である役物抽選に当選したか否かを判断する役物抽選判断手段、および、前記役物抽選判断手段によって当選した旨が検出されたことに基づいて遊技者に有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段、を少なくとも有する遊技制御手段と、を備えた遊技機であって、前記案内装置は、前記開閉装置から受け入れられた遊技球のうち 1 球の遊技球のみを前記回転式役物の周縁に対向させることによって、当該 1 球の遊技球を当該回転式役物に供給し、前記通常領域は、遊技球を受け入れ可能な通常選択口と、当該通常選択口に隣接し且つ前記案内装置が当該通常選択口に先だって対向する通常周壁と、から形成されると共に、前記特別領域は、遊技球を受け入れ可能な特別選択口と、当該特別選択口に隣接し且つ前記案内装置が当該特別選択口に先だって対向する特別周

壁と、から形成されて、前記役物抽選判断手段は、前記特別選択口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記役物抽選に当選したと判断するものであり、前記特別選択口は、当該特別選択口の径方向深さが前記通常選択口の径方向深さよりも大きく形成されると共に、前記特別領域は、前記回転式役物の周方向に沿った領域長さが、前記通常領域の領域長さよりも小さく形成されていることを特徴とする。